

立教大学終戦から 70 年特別企画  
公開講演会  
～脚本家・渡辺あや氏をお迎えして

NHK 朝の連続テレビ小説  
『カーネーション』に見る  
私たちの過去・現在そして未来

---

戦争を知らない世代の脚本家・  
渡辺あや氏がセリフに込めた  
思いとは。

◎ドラマ『カーネーション』

大正から平成にかけての大阪・岸和田が舞台。

劇中に日中戦争・太平洋戦争という時代を経ながらデザイナー小篠三姉妹の母・小篠綾子氏をモデルに女性の生き方、服を作るという行為、親子関係、老いと死の問題を扱ったドラマ。戦争の描き方が大きな話題を呼んだ。2011 年下半期放送。

◎渡辺あや氏プロフィール

島根県在住。1970 年生まれ。主な作品に映画『ジョゼと虎と魚たち』『メゾン・ド・ヒミコ』『ノーボーイズ、ノークライ』。ドラマ『火の魚』『その街の子ども』『ロング・グッドバイ』など。

立教大学学生、学校関係者、一般の方、どなたでもご参加いただけます。

【開催日時】2015 年 8 月 27 日（木）18：30～20：30

【開催場所】立教大学池袋キャンパス 11 号館地下 AB01 教室

【受講料】無料【申込み】不要

■司会・聞き手：長 有紀枝

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科・社会学部教授

言葉は時代を映し、  
時代が言葉を紡ぐ。